



サンキョウだより 【8月号】

立秋とは名ばかりの厳しい暑が続いていますが、皆様、いかがお過ごしでしょうか。環境NEWSLETTER「サンキョウだより」では、より良い情報を提供して参りますので、変わらずご愛顧の程、宜しく願い申し上げます。



国内ニュース

事業関連

環境省、平成29年度環境技術実証事業
ヒートアイランド対策技術分野における実証

環境省は、平成29年度環境技術実証事業について、ヒートアイランド対策技術分野（地中熱・下水等を利用したヒートポンプ空調システム）の実証に関与する特定非営利活動法人地中熱利用促進協会による審査を経て選定された実証対象技術4件を承認しました。

本技術分野は、ヒートアイランド対策技術のうち、「地中熱・下水等を利用したヒートポンプ空調システム」の実証試験を行っています。

地中熱等（地下水・河川・下水等の熱も含む）は、冬は外気よりも暖かく、夏は外気よりも冷たいという特性があることから、地中等を熱源とするこの空調システムは、外気を熱源とするものとは比べ、冷暖房時のポンプや圧縮機の消費電力量を低減させることができ、空気（外気）を熱源とするものよりも効率よく建築物の冷暖房を行うことができます。

実証試験の詳細は左記のアドレスを参照してください。
http://www.env.go.jp/policy/etv/systempolicy-3.html

神戸市、フードドライブ実証で連携 食品スーパーやNPOなどと

神戸市は食品ロス削減に向け、生活協同組合コープこうべやダイエー、NPO法人フードバンク関西（芦屋市）と連携し、家庭で手つかずの余ったレトルト食品や缶詰などを市内の店舗で回収し、生活困窮者などを支援するフードドライブの実証を行います。

市によると、食品ロス削減を目的に、自治体が小売業者と連携し、一定の期間を設けて店舗でフードドライブを実施するのは全国でも珍しいという。回収の対象となるのは、未開封▽賞味期限まで1カ月以上▽成分やアレルギー、販売者の表示がある▽成分やアレルギー表示が食品の条件を満たす▽西を通じ、生活保護申請者ら緊急支援が必要な世帯に届けられます。

国土交通省、暑さ対策に向けた緑化技術の 公開テストを日比谷公園で実施

国土交通省は、2020年に向けて行う暑熱対策の技術開発の一環として、民間企業と連携した緑化技術の公開テストを日比谷公園において実施します。

今回のテストは、自立構造物に対する壁面緑化技術で、設置期間中、1）夏の酷暑の状態における植物生育の安定性、2）緑化資材の固定方法や資材そのものの耐久性、3）表面温度や体感温度の測定等に関する調査を実施します。

法令・補助金関連

文部科学省、木の学校づくり先導事業
（平成29年度の委託予定者を決定）

文部科学省は、木の学校づくり先導事業（平成29年度）の委託予定者を、千葉県流山市に決定しました。

当事業は、全国的な規模での木材利用を推進するため、建築基準法改正により規制緩和された大規模木造校舎等の整備に対して、必要な支援を行うものです。木材は、やわらかで温かみのある感触、高い吸湿性などの優れた性質を持っており、豊かな教育環境づくりを行う上で大きな効果が期待できます。また、木材の使用は、地球温暖化防止への貢献、地域の文化の継承などの観点からも、大きな意義があります。

環境省、平成27年度土壌汚染対策法の 施行状況及び土壌汚染調査・対策事例等 に関する調査結果を公表

環境省は、都道府県等を対象に、土壌汚染対策法（平成14年法律第53号）の施行状況等について調査を実施しており、平成27年度の当該調査の結果について取りまとめたので公表しました。平成27年度に法に基づき土壌汚染状況調査結果が報告された件数は754件であり、前年度より72件減少しました。調査の結果、土壌の汚染状態が指定基準を超過し、要措置区域等に指定された件数は479件（前年度より53件減少）であり、法改正された平成22年度からの累計で2,682件となりました。詳細はプレスリリースを参照してください。

「ご相談ください」
環境に関する管理やクレームにお悩みの方々へ、弊社にご相談ください。測定や分析した結果を基に、改善していくご相談に応じております。

